**ほけんだより**

令和５年１月末日

志村さかした保育園

気温が低く乾燥した日が続いています。２月４日は、暦の上では立春で春を迎える時期とされていますが、まだまだ寒い日が多く風邪などが流行する時期でもあります。

全国的にインフルエンザの流行も続いています。感染症予防を徹底するとともに、体調に変化があった場合は早めに病院を受診するなど、体調が悪化しないよう心掛けましょう。

先月は胃腸炎になる園児が多くいました。保護者の皆さまには病院受診や家庭保育のご協力をいただき、ありがとうございました。園では引き続き、手洗いの徹底や物品の消毒に努めて感染対策を行ってまいります。

胃腸炎に限らず、今後も、お子様に関してご家庭での様子でお気づきのことがありましたら、登園時に保育者へお伝えいただきますようお願いします。

**【お願い】**

登園許可証が必要な感染症について、改めてご確認をお願いします。登園許可証が必要な感染症だった場合、休み明けの登園時に必ず許可証をお持ちください。

また胃腸炎に関しては、感染性（ノロ・ロタ・アデノウイルス）以外でも、病名は確定できないが粘液を含む下痢や複数回の嘔吐は、医師の意見書（登園許可証）が必要になりますので、よろしくお願いいたします。

インフルエンザは「発症した後５日を経過し、かつ、解熱した後３日を経過するまで」が登園の目安となります。受診をして医師の意見書（登園許可証）をもらってからの登園をお願いします。

「かぜ」 と 「インフルエンザ」　 どう違う？

かぜとインフルエンザの違いは、主にウイルスの種類と症状です。

* **かぜ**は、アデノウイルス、RSウイルスなどが原因で、微熱、鼻やのどの痛み、くしゃみ、鼻水などが主な症状。
* **インフルエンザ**は、インフルエンザウイルスが原因で、40℃前後の高熱、悪寒、頭痛、のどの痛み、せき、鼻水、関節痛や筋肉痛などの症状が現れる。感染力がとても強く、ふつうのかぜよりも症状が重いのが特徴。

子どもの体調が悪いとき、小児科？ 耳鼻科？

お子様の咳や鼻水が出ている時、小児科に行くべきか耳鼻科に行くべきか迷うことがあると思います。

咳がひどかったり明らかな発熱があったりする場合は小児科ですが、微熱で比較的元気、咳はあまりないが鼻水がある、喉の痛みがあるなど咽頭炎、扁桃腺炎、中耳炎などが考えられる時は耳鼻科のほうが的確に診断できます（耳鼻科は首から上が専門分野なので）。

ただし２つの科は重複している部分もあり、分けることは難しいです。どちらか一方の科に行ってもなかなか良くならない場合は、一度他方の科に行ってみてはいかがでしょうか。